

常盤第一マンホールポンプ場ポンプ故障に伴う対応について

5月専決補正予算関連

1. 故障発生の経過

2026年4月上旬より、常盤第一マンホールポンプ場において稼働する2基のポンプのうち、No.1ポンプの運転電流値に異常な変動を確認。併せて、運転時の振動がNo.2ポンプと比較して大きい状態が見受けられる。
同年4月14日(火)、当該ポンプは故障により停止。直ちにメーカー代理店による点検調査および仮の応急措置を実施。

2. 調査結果および復旧方針

故障したポンプ本体について詳細な点検およびオーバーホール等の復旧検討を行った結果、羽根車軸穴および主軸の摩耗による損傷が判明。そのため、部品交換等の修繕ではなく、ポンプ本体の更新が必要であるとの結論に至る。

3. 対応案

当ポンプ場は通常2台による交互運転を実施。現在、1台のみでの稼働を余儀なくされているため、早急なポンプ調達が必要。本件に係る費用について専決処分による補正予算の計上をお願いしたい。

なお、ポンプの更新完了までの間は、万が一の事態に備え、受注業者およびメンテナンス業者と連携の上、他施設のポンプの移設(仮設)等を行うことで、汚水排除の機能を確保する体制を整えることとする。

4. 事業費について

マンホールポンプNo.1ポンプ更新費 7,161,000円 (税込)
(納期は3~4か月の見込み)

箇所図



常盤第1マンホールポンプ場対象処理区域
処理対象戸数: 301戸
処理対象人口: 751人
(2025年3月末現在)

点検状況



損傷部の一部

